

りて茹取り、來年新芽發生に妨げなき様にす、之を茹落としと稱して茶畑に捨て置き、自然の醱酵に任せて肥料とするか、乾燥して燃料となす。然るに此の茹落としには多量のカフェイン含有すること判明したれば、之を以つて製造の原料と爲さんとしたれど、之を採取するものなし、若し専門の採取業者あらば縣下の産額約六百萬斤、一封度十圓と計算して四百十六萬五千圓の巨額に達すべく極めて有望なる事業也。

長井博士の成功

東京醫科大學藥學科の講堂に開會中の日本藥學會の講演席上で理藥學博士長井長義氏は最近に於ける博士の新藥合成の結果を報告した。

局部麻酔劑として齒科、眼科其他の小手術になくてならぬコカインにした處が、又は高峰博士の發明に懸る止血劑アドレナリンにした處が、又はモルヒネにした處が何れも皆植物又は動物の體中に含まるゝものを取り出したに過ぎない、新藥の合成ではない、然るに長井博士の研究した新藥の合成は天然に存在するものから取り出すのでなくて新に合成化合さして新しい藥を製造すると云ふ方面の研究である。

それで先づ博士は牛の副腎中から採るアドレナリンと同一の効能のある化合物が化學物が化學實驗室の試験管の中で出來ない者であらうかと色々苦心して遂に夫を作つた。最初はアドレナリンと同一の成分をするものを作らうと思つたのであるが必ずしも同一のものを合成しなくとも同一の効能のある藥を合成すれば可いと考へて、エナエモジンと云ふものを製造した、これは醫學博士三浦謹之助氏の證明によつて、アドレナリンと同一の効能があることが確められたのである。

此新藥はアドレナリンの様な高價なものではなく、其價格の百分の一位で出來るのである、又コカインと同一の効能のある「アロカイン」と云ふ新藥も同一の目的で製造された、これも三浦博士がコカインと比較研究して確に同一の効能があると云ふことを明かにした。

又、一 成 功

眼科で瞳孔散大藥として用ひらるゝ硫酸アトロピンは内科に於けるモルヒネなどと同じく眼科の主要藥品である、夫れを東京衛生試験所で研究して内地の原料で製造し得るに至つた、主任技師石津藥學博士と柳澤囑託との功勞である、製造法に就いて聞くと